

日本建築学会東北支部山形支所企画 「山形のまちと建築」3回シリーズ

戦災に遭わなかった山形市は、都市計画を実施し近代化を推進し、伝統的な建築のいくつかは保存再生できてましたが、近代建築が築50年を迎えます。また戦後20年経った頃実施された不燃共同化事業も、街並みをつくった重要な存在です。山形市内の防火建築など近代建築を採りあげ、都市計画とともに、まちと建築の歴史を見て考える3回のシリーズを企画しました。ふるってご参加ください。

第2回

「近代化する山形;戦前・関東大震災復興からの都市不燃化への意識の流れ」

講師: 栢木まどか(東京理科大学准教授)

日時: 11月28日 午後3時~

場所: ゆうキャンパス・ステーション(山形駅前)

伝統的な不燃建築であった蔵造りの建造物が関東大震災で消失した事実以降、一挙に近代的な建物やビルで不燃化が実施される流れとなります。しかしそれまで慣れ親しんだ建築への思いとの葛藤、街並みの基本作法の消失など、課題を抱えたまま事態は進行します。

このような戦前の大事な時期のお話を栢木さんに講義いただき、山形のまちと建築とのつながりを議論する第2回の会です。ふるってご参加ください。

山形のまちと建築

日本建築学会山形支所事業2015
シンポジウム3回シリーズ



第一回

現在のまちと建築

日時：2015年10月10日 15時～

会場：ヤマコーホール

山形市香澄町3丁目2-1山交ビル7F

ゲスト

磯達雄 (建築ライター)

講演：ちょっとイイ建築鑑賞術

*まち歩き会も行います。

第二回

近代化する山形

日時：2015年11月28日 15時～

会場：ゆうキャンパス・ステーション

山形市香澄町1-3-15山形むらきさわビル1階

ゲスト

栢木まどか

(東京理科大学准教授)

講演：戦前・関東大震災復興からの

都市不燃化への意識の流れ

第三回

戦後の山形

日時：2016年2月6日 15時～

会場：ゆうキャンパス・ステーション

山形市香澄町1-3-15山形むらきさわビル1階

ゲスト

藤岡泰寛

(横浜国立大学准教授)

講演：(仮)防火建築帯について

*詳細が決定次第告知いたします

シンポジウム司会

相羽康郎 (東北芸術工科大学)

コーディネーター

香川 浩 (建築家/スタジオ香川)

主催：日本建築学会東北支部山形支所 協力：山形大学 (公) 日本建築家協会東北支部山形地域会

連絡先：東北芸術工科大学相羽研究室 tel 023-627-2057 mail aiba.yasuo@aga.tuad.ac.jp